

日本人の識字率の高さが証明されたと判断して日本語のローマ字化は撤回されたといえます(注1)。つまり、圧倒的な識字率の高さが日本語を守り、日本国を守ったということです。

5、各RCの識字率の向上に対する取り組み

昨年のノーベル平和賞を受賞したパキスタンのマララ・ユスフザイさん(当時17歳)は、人間が人間らしく生きるための基本的な能力を身につけるために、子供たちに教育を受ける権利を保障してほしいと訴えておりました。

国連によると、戦争、貧困、児童労働などが理由で初等教育を受けられない子供は2011年現在で5700万人に上るといいます(注5)。そこで、各ロータリークラブの識字率の向上に対する取り組みをロータリーの友から拾ってみました。

■2011年3月号東京成城RC

ネパールの子供たちに、教室を作るための資材を提供



ネパールのジャスカン村にコミュニティ・ビルディング建設

■2700地区の鳥栖RC

市内の小学校、銀行の窓口、大型店舗の受付カウンターに文具の受付箱を設置してもらい、集まった文具をフィリピンやネパールの子供たちに寄贈



鉛筆1万本運動

■岐阜サンリバー RC

ベトナムの子供たちのために村の集会場に本棚と図書、ノート、鉛筆を寄贈

■能代 RC

日本語を学ぶ在日外国人をバックアップするボランティア団体にロータリー財団の地区補助金を活用してパソコン等の物資的支援

■2010年3月号2630地区の不破の関 RC

書き損じハガキでユネスコの世界寺小屋運動を支援

■2008年3月号長野県のあづみ野 RC

ミャンマーのヤンゴン市郊外に木造、2階建、延べ245㎡の学校を建設



ミャンマーの子どもたち



テザヤマ僧院学校完成

●我がクラブでも書き損じハガキの換金を通してユネスコの世界寺小屋運動を支援しているところがございます。

参考資料

- (注1) Wikipedia
(注2) ロータリーの友 2009年3月号
(注3) 2014, 10, 25 朝日新聞
(注4) 2014, 10, 25 信濃毎日新聞
(注5) 2014, 10, 11 朝日新聞
(写真) 各RC 会報



2014-15年度
国際ロータリー会長
ゲイリー・C. K. ホアン
第2600地区ガバナー 中川 博司

国際ロータリー第2600地区
上田六文銭ロータリークラブ
RoKumonsen Rotary Club



事務局
〒386-0025
長野県上田市天神4-24-1
上田東急イン3F
TEL 0268-25-6000 FAX 0268-25-6002
http://www6.ueda.ne.jp/~ueda6rc/
例会日 毎週火曜日 12:30~13:30
例会場 上田東急イン2F
創立 1997年2月18日

●会長 杉山 裕 ●幹事 中澤 信敏 ●会報委員長 北村 久文 ●副委員長 横沢 正 ●委員 生川 秀樹 水野 泰雄

例会日誌

- 司会 中沢利樹男君
□開会点鐘 杉山 裕君
□慶祝
・皆出席

水野 泰雄君 (5年)



ロータリーに輝きを



・誕生日祝

- 杉山 裕君 (1日)
平野 成基君 (6日)
山崎 芳雄君 (7日)
山崎 博太君 (27日)

・結婚記念日祝

- 鹿志村恭彦君 10日
平野 成基君 27日

□プログラム 識字率向上月間卓話
国際奉仕委員会 委員長 松澤 一志君

会長挨拶

杉山 裕君

干支の話

十二支は子(ね)・丑(うし)・寅(とら)・卯(う)・辰(たつ)・巳(み)・午(うま)・未(ひつじ)・申(さる)・酉(とり)・戌(いぬ)・亥(い)ですね。「今年の干支はひつじだね」などと言いますが、これは正確な言い方ではありません。

干支と言ったら「支」の部分の十二支だけでなく、前半の「干」の部分、すなわち十干(じっかん)についても述べなければ不十分です。十干は甲(こう)・乙(おつ)・丙(へい)・丁(てい)・戊(ぼ)・己(き)・庚(こう)・辛(しん)・壬(じん)・癸(き)の10種類から成り立ちます。

日本では十干を二つに区切って木(き)・火(ひ)・土(つち)・金(か)・水(みず)という五行(ごぎょう)に当てはめ、さらにそれぞれを陽の(え)と陰の(と)に分けます。すなわち、甲は(きのえ)、乙は(きのと)といった感じです。十二支とあわせて、「ひのえうま」は聞いたことがあると思います。

事件や名称でも、この十二支は使われています。戊辰戦争(1868年)、壬申の乱(672)は有名ですが、甲子園球場の甲子は1924年竣工で、甲子(きのえね)の年であったことから、この名がついたそうです。

還暦というのは、十干と十二支が同じになる年ということで十干と十二支が同じになる年と言うことで10と12の最小公倍数の60年になるわけですね。

幹事報告

幹事 中澤 信敏君

1. 中川ガバナー事務所より
・2014-15年度青少年育成基金助成報告

会報恵送

1. 上田東ロータリークラブ
会員配布物

1. ロータリーの友
2. ガバナー月信
3. 当クラブ会報 835号・836号配布

その他

1. オクトンより 2015-16年度ロータリー販売

出席・ニコニコBOX報告

柄澤 堯君

	ベース	欠席	メイク	出席率
本日	24	6	-	79.16%
前々回	26	4	3	96.15%

中沢利樹男君 慶祝の方、おめでとうございます。
松澤 一志君 卓話をさせていただきます。
斉藤恵理子君 松澤さんお話し楽しみにしています。

識字率向上月間卓話

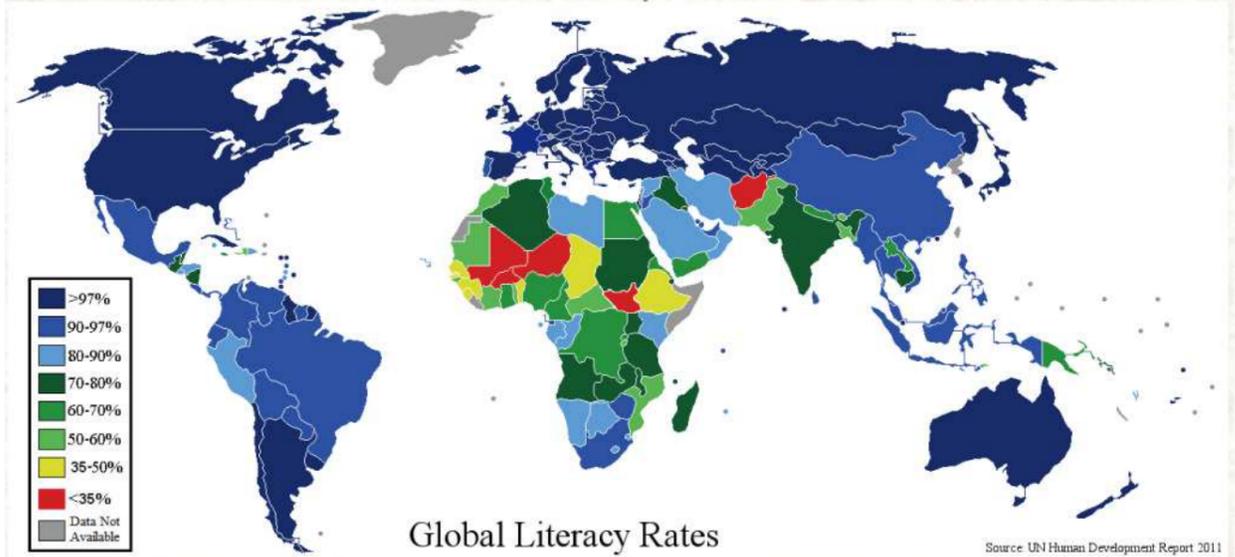


国際奉仕委員会
委員長 松澤 一志君

1. 趣旨
今月は識字率向上月間に当たりますが、識字率の高い日本においてはこの月間に対する関心が低いのではないかと思います。
そこで改めて識字について広辞苑に当たって

山崎 博太君 いよいよ八十路を迎えることとなりました。これからも、宜しくお願いいたします。
田中 栄一君 いよいよ春のようになって来ました。耳の日・ひなまつりです。7段飾り出しました。
中澤 信敏君 おひなさまもおととい飾りました。
杉山 裕君 昨日の停電はびっくりしました。よっぽど休もうかと思いましたが、10時から働きました。
水野 泰雄君 ひな祭りです！女の子のいない我家は、さびしい限りです。昨日の停電は、ビックリしましたー忘れた頃にーですね…。
宮原 宏一君 今日はひなまつりですね。
柄澤 堯君 昔から耳鳴りがしています。疲れるとひどくなります。今日は「耳の日」田中さんに聞いて、初めて知りました。
西澤 尚夫君 最近歯科通いです。皆さん、歯を大切に。
肥田野秀知君 笠原 一洋君 北村 久文君
小嶋 修一君 山崎 勝司君 横沢 正君

みました。識字とは、文字の読み書きができることと書かれております。識字率とは社会の15歳以上の人口の中で母国語の読み書き能力のできる人の割合を示すとされております。
この能力は日本では義務教育で教えられており、人間が生きていくうえで必要な基本的能力であります。ですから、この能力がなければ本人はもとより地域社会や国家の発展にとっても好ましいことではありませんし、不利益なことになります。私共の生活や産業の発展にとってガス、水道といった基盤設備の整備、拡充が望まれることと同様であります。
世界の識字率は向上しておりますが、まだ世界の全ての人々がこの能力を獲得する教育の機会に恵まれているとはいえない状況です(注1)。そこで、識字率向上は、1986年以来、国際ロータリーの強調事項の一つになっております(注2)。
2. 世界の識字率



Wikipediaによれば2013年時点で世界1の識字率を誇る国はキューバの99.9%、2位タイがバルト三国のエストニア、ラトビアの99.8パーセント、アジアではカザフスタン、タジキスタンの99.6%が11位タイ、日本が99.0%で23位タイ、東アフリカのエチオピアが28%で181位、同じく南スーダンが27%で182位、最下位が西アフリカのマリの26.2%で183位となっております。
実は、ユネスコが公開した2002年の日本の識字率は99.8%でしたが、10年間で0.8%減少しております。他方、パキスタンが41.5%から58.2%へ、パングラデシュが41.1%から55.9%へ、アフガニスタンが36.3%から37.8%へ上昇しております。
3. 日本の識字率の低下の原因
日本の識字率の低下の原因は明確ではありませんが、一つには戸籍を持たない無戸籍者の存在を見逃すことができないと言われております。新聞によれば、昨年10月に法務省が全国で279人の無戸籍者の存在を確認したと発表しております。但し、この数字は全自治体のうち回答があった約1割の自治体の数字に過ぎないという事ですから氷山の一角ということになります。
この事実を裏付けるように、今年の2月18日のNHKのテレビの特集番組で無戸籍者数を533人と報道しておりました。長野県内では4名確認できているようです。無戸籍者が存在する理由の一つに民法772条の嫡出の推定規定が指摘されております。つまり、婚姻解消の日から300日以内に生まれた子は婚姻中に懐胎したものと推定するとされておりますから、さまざまな理由により元夫の子にすることを望まない母親が子の出生届を出さないまま時が経過して、子供が義務教育を受ける機会を失ってしまうケースが目立つといわれております(注3、4)。
4. 日本語を守った識字率の高さ
ところで、冒頭で識字率の向上は個人のみならず国家の存続、発展のためにも重要な要素であるという事を話しましたが、1945年、第二次世界大戦に敗れた日本は母国語を失いかねない危機に直面した経験があります。戦争中、玉砕するまでに戦った日本人を見たアメリカ人は、「日本人は間違った情報を伝えられていて、正しい情報を得ていないに違いない。なぜなら、新聞があのように難しい漢字を使って書いている。民衆に読めるはずはない。事実を知らないから、あんなに死に物狂いの戦い方をするのだ。日本に民主主義を行き渡らせるには情報をきちんと与えなければいけない。そのためには、漢字という悪魔の文字を使わせておいてはいけない」と考えたといひます(「日本語の研究」大野晋著岩波新書)。
事実、1948年、GHQの民間情報教育局は日本人の正確な識字率調査のために15歳から64歳までの約1万7000人の老若男女を対象とした「日本人の読み書き能力調査」をしたといひます。その結果、テストの平均点は78.3点で97.9%という高い識字率を誇っていることが判明しました。民間情報教育局はこの結果に驚き、